

飲食料品製造業で働く インドネシア人材に インタビュー

interview

特定技能
人材

トミー



氏 名 : トミー スジャナ プトラ
 年 齢 : 32歳
 出身国 : インドネシア、バンドン
 出身学校 : ユニコム大学
 日本語歴 : 3年
 レベル : JFTA2級
 趣味 : サッカー、バレーボール

外国人労働者が日本に必要な理由が分かりました。

銀行員を辞めて日本の飲食料品製造業へ

日本に行く前、僕は高収入の国に移住したいと本当に思っていました。その中の一つが日本です。日本は所得水準が高い先進国です。日本で稼ぎたいと以前から考えていました。ここで自分自身の生活費を賄い、またインドネシアの家族のために家計を助けることができます。また、インドネシアの銀行で働く前から海外で働きたいという夢がありました。旅行も好きですがインドネシアから日本に旅行するのは多大な費用と時間が必要です。それであればいっそのこと日本で働き、休日に旅行すれば両方叶うと思いました。

銀行員を辞めて日本の飲食料品製造業へ

日本人は多くの方が親切だということは前から聞いていました。実際、日本に着いた時にもそれを感じました。私の働いている会社では、多くの方がインドネシア人に親切です。最初は、この会社だけが労働力を必要としていたから私たち外国人に親切だと思っていたのですが、日本社会全体がそうだと後で気づきました。インドネシアでは若者が多いですが、日本全体が若者よりも高齢者が多い人口構成になっていることに気づきました。私は日本が外国人労働力を必要としていると強く感じています。

私の予想外だったことは、日本の天候です。気温がかなり変わりやすく、特に今は冬の時期ですので、僕は個人的にあまり好きではありません。日本へ来る前に、「雪を見て、冬の季節を経験したい」と思っていたのですが、実際には冬が全く好きではありませんでした(笑)。



日本ではモチベーションコントロールが更に必要です

これまで、インドネシア人や日本人との関係性は問題は特にないです。「新しい環境になれる」ことだけだと思います。日本就労のデメリットは遠い事。これまでの慣れた状況から遠く離れて孤独を感じることがありますし、日本では私は『外国人』になります。寂しい気持ちは仕事のモチベーション（家族や親、兄弟姉妹の生活を支援する）でコントロールできます。インドネシアでの生活とは違い普段から気持ちを高める必要があります。

将来はハラールのビジネスを日本で

私の夢は日本でハラールフードのビジネスを行うことです。特にハラール製品を扱う自分の店を持ちたいです。イスラム教で決まっているハラール製品を日本で見つけるのはかなり難しいです。ですので、将来自分のビジネスを通じて日本に住むムスリムの人々を支援できればと思っています。



丸和食品株式会社(千葉県成田市)
製造部 課長代理 王 文磊様

初めは文化や習慣の違いからうまく伝わらないことがあったり、仕事に慣れるまでは作業が遅く感じることもありましたが。しかし今では言葉のやり取りもうまくいっていて、作業のスピードも速くなりました。今では貴重な戦力となっています。
インドネシア人の採用を検討されているのなら、強くお勧めします。現代の日本人の若者は頑張れない方も多く、残念なことに採用しても定着率は低く感じます。インドネシアの若者は家族の生活の為、自分の夢の為に粘り強く頑張ってくれます。その姿に私たちも頑張るエネルギーをもらっているのです。コロナも落ち着いてきたので、今年の年末にはようやくみんなで忘年会できるかなと楽しみにしています。

topics

千葉県旭市に営業所を10/1にオープンしました！

皆様のご支援により、弊社での紹介人材が旭市で14名となり、今後更に10名以上の入国が決定しております。企業様、人材の皆様のタイムリーなフォローができるように、以下の住所地に営業所をオープンしました。所員2名が皆様のお役に立てるよう、精一杯努力いたしますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



旭営業所スタッフの鈴木とナディアです。よろしくお願い申し上げます。



【旭営業所】

〒289-2613

千葉県旭市後草1345 エクシード東谷原305号室
JR総武本線 飯岡駅徒歩10分(カインズ前)

外国人雇用に関する事は marimoHR

詳しくはこちらへ：

marimoHR



marimo holdings

株式会社 マリモ ホールディングス

〒733-0821

広島県広島市西区庚午北1-17-23
社長室 国際人事部



0800-222-0740

受付時間9:00~18:00(土日祝日を除く)